

史資料ハブ

地域
文化
研究

[企画]

国際シンポジウム 2005年6月17日

「ジブラルタル海峡をはさむ他者意識——イベリアとマグレブの相克」

- | | |
|--|------------------------|
| はじめに | 立石博高 |
| 侵略者モロッコからマグレブ移民まで
—この14世紀のあいだにスペインで形成された「モロ」
とムスリムの恐るべきイメージ
エロイ・マルティン・コラーレス
訳者：坂本宏 | |
| モロッコから見たスペイン | アブドゥラー・ジビル
訳者：佐藤健太郎 |
| 20世紀におけるスペイン人とモロッコ人の新たな遭遇
—「友好モロ人」か「恐ろしいモロ人」か | 深澤安博 |
| コメント(1) | 平野千果子 |
| コメント(2) | 飯島みどり |
| 討論要旨 | 佐藤健太郎 |
| 国際シンポジウム参加記 | 竹下和亮 |

September 2006

No.8

南アジア・東南アジア関係 史資料収集事業紹介

- | | |
|--|------|
| 戦時下の日印協会調査活動の一断面
—新たに発見された第2次大戦中のインド・セイロン関係調査資料リスト
東洋文庫所蔵「北京ウンドル王府モンゴル語文書記録帳写本」の史料的可能性
ボルジギン・ブレンサイン | 松本清作 |
|--|------|

[活動報告]



東京外国語大学大学院
地域文化研究科
21世紀COEプログラム
「史資料ハブ地域文化研究拠点」